

断面計画

■基本的な考え方

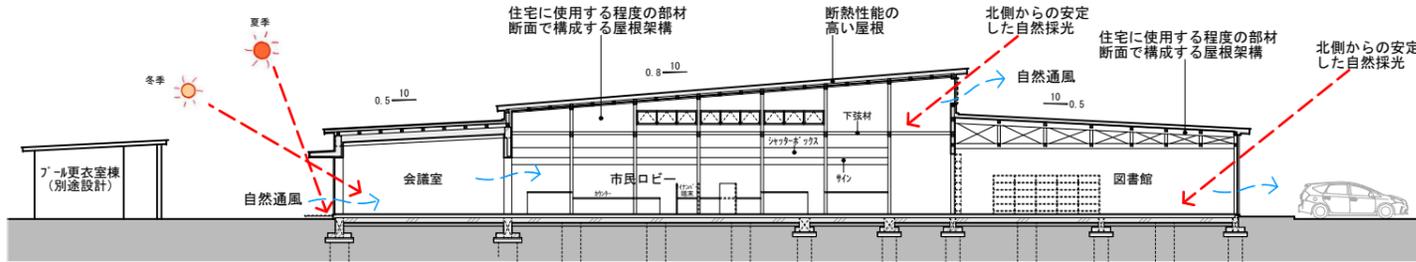
- ・空間構成段階で、出来るだけ設備に頼らない快適な空間をつくる工夫などで、ライフサイクルコストの低減を図り、環境への負荷の少ない建築を実現する。。
- ・高い屋根と低い屋根2段の屋根で構成し、段差の部分に北側の安定した光を取り入れるための高窓を設置する。

■木造部分の考え方

- ・原則的に、地域産木材等を活用し、通常確保できる住宅に使用する程度の部材を使った断面構成とする。

■RC造部分の考え方

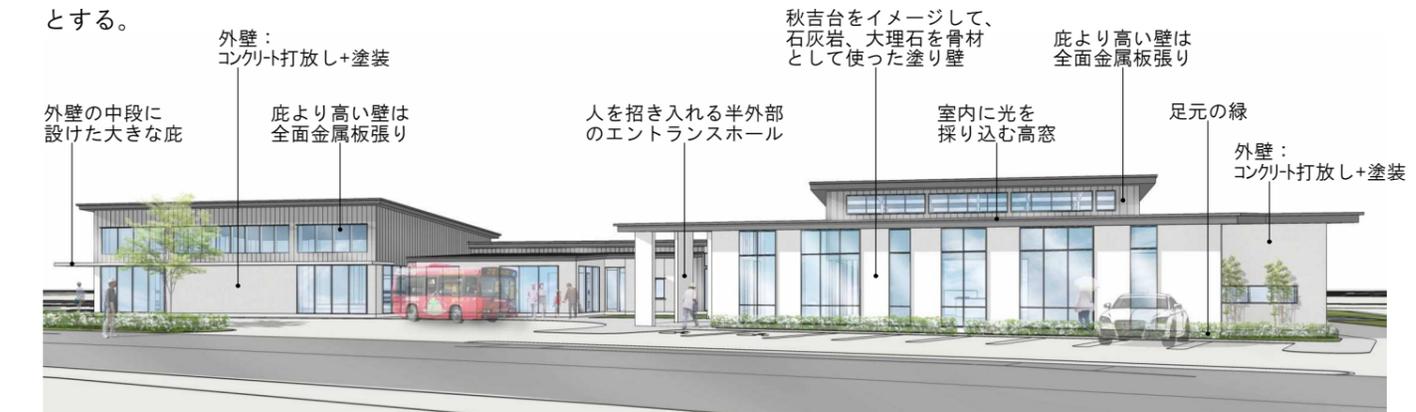
- ・原則として、壁、梁までをRC造、屋根を木造または鉄骨造とすることで、建物全体の軽量化を図る。



仕上げのイメージ

■県道31号から見た外観

- ・右手に図書館、総合支所執務室の高窓があり、左手に多目的ホールのボリュームを配している。
- ・中庭や半外部空間を設け、ふらっと入ってみたいくなる、親しみやすい表情をつくる。
- ・市の中央で、秋吉台、秋芳洞や別府弁天池などに近接する「交流の場」として、人々が集まりやすく利用しやすいデザインとする。



■主な仕上げ

屋根	Al-Zn合金メッキ着色鋼板 特殊堅ハセ葺き(フラットーフ)	天井	ロックウール吸音板、杉板張り等
外壁	外装薄塗材E、左官塗り壁、Al-Zn合金メッキ着色鋼板堅ハセ葺、杉板張り等	内壁	石膏ボード EP塗装またはクロス張り、杉板張り、シナ合板張り等
開口部	アルミサッシ、Low-E複層ガラス	床	複合フローリング、タイルカーペット等

事業スケジュール

本施設の完成時期は、合併推進債の期限の2022年度末を目標とします。ただし、スケジュールについては実施設計の各段階において見直す可能性があります。

	令和2(2020)年度				令和3(2021)年度				令和4(2022)年度				令和5(2023)年度			
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
基本設計	■	■	■	■												
実施設計																
建設工事																
解体工事																

お問い合わせ先：美祢市秋芳総合支所 総合窓口課
〒754-0511 美祢市秋芳町秋吉5335-1 TEL 0837-62-1912 FAX 0837-62-1828

美祢市新秋芳総合支所庁舎等整備基本設計(案)
概要版

令和3年1月

美祢市では、秋芳総合支所、秋吉公民館、秋芳図書館を複合して、新秋芳総合支所庁舎等整備事業を進めています。この度、基本設計(案)がまとまりましたので、新秋芳総合支所庁舎の、機能、規模、構造等の内容を含んだ、基本設計概要についてお知らせします。



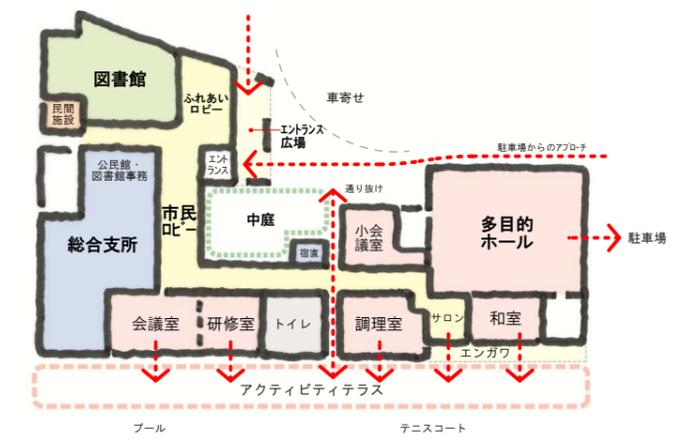
新秋芳総合支所庁舎等整備計画の目的

「みんなが頼りにできる暮らしの中心をつくる」

新総合支所整備の目的は、総合支所、公民館、図書館という3種類の公共施設を複合して整備することで、秋芳地域の中心に、暮らしの中心を再生させることにある。複合していることのメリットを最大限生かし、子育て、コミュニティ活動、文化活動、産業活動など、複合的な活動を展開するための「拠り所」として頼りになる場所をつくり、秋芳地域固有の大地の構造や、歴史を大切に、次代を担う子どもと、地域文化を育てる活動の拠点として地域の人に愛される建築となることを目指している。

基本計画で位置づけた、新しい拠点施設が備えるべき4つの要素

1. みんなが気軽に集まる世代を越えた居場所
2. みんなが様々な活動を展開する場所
3. みんなをつなぐ情報拠点
4. みんなのくらしを支える場所



○複合から融合へ 空間構成の考え方

3つの施設を構成する諸室を、市民ロビー、ふれあいロビーによって、ゆるやかにつなぎながら、全体がひとつの建築として融合することを目指している。

「みんなで力を合わせて、地域の子どもと文化を育てるコミュニティの拠り所をつくる」

1. みんなが気軽に集まる世代を越えた居場所

- ・子どもからお年寄りまで、みんなが普段着のまま気軽に集まれる地域のエンガワのような居場所
- ・複合していることの利点を生かし、複合利用・重複利用により、コンパクトにつくり、大きく使える施設
- ・子どもたちが学校帰りに立ち寄り、勉強や、バスの時間待ちなどに使う場所
- ・ユニバーサルデザインを徹底し、子どもからお年寄りまですべての人が使いやすい施設

2. みんなが様々な活動を展開する場所

- ・住民がそれぞれに自由な活動を展開し、自らの力を振るうことができる場所
- ・さまざまな地域活動や、まちづくり活動の拠点として、多世代に利用される施設
- ・配食サービスなど、地域ボランティア活動にみんなで取り組める場所
- ・中庭を囲むように広がる市民ロビーで、サロンやギャラリーなど市民の様々な活動を展開する場所

3. みんなをつなぐ情報拠点

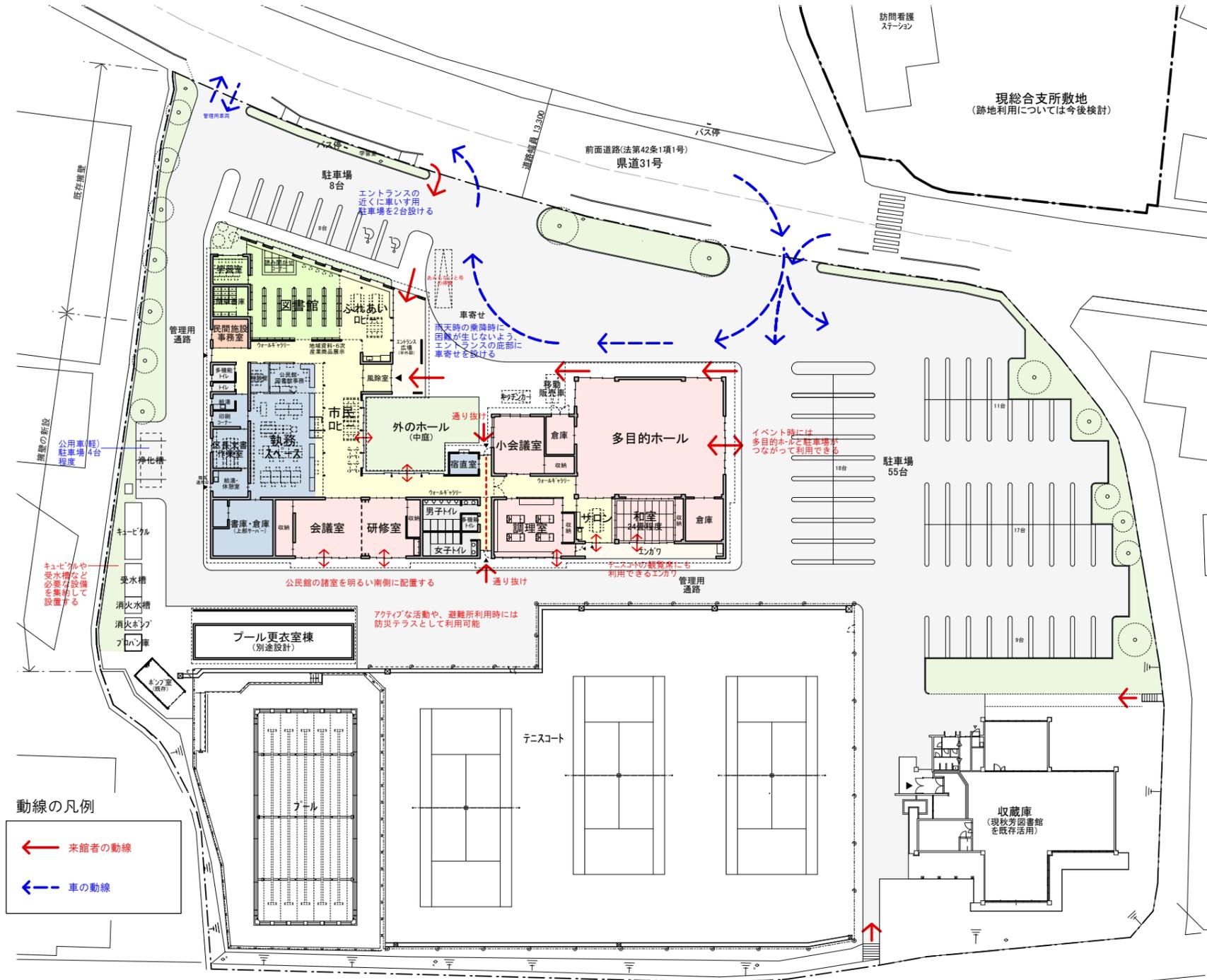
- ・住民が取り組む地域活動などを集めた地域情報の受・発信拠点
- ・本や情報を集め、困った時に頼りになる知的情報拠点としての施設
- ・秋吉台・秋芳洞などの観光資源やジオパークなどのビジターセンターとして、情報発信拠点の役割を担う場所
- ・ICT環境の整備を進め、本庁、美東総合支所とのネットワークにより円滑な運営が行われる施設

4. みんなの暮らしを支える場所

- ・安心して出産や子育てができるよう子育て世代を応援し、子ども達の健やかな育ちと学びを支える場所
- ・健康増進活動や、体力維持のための軽運動、子どもの遊び場として利用できる場所
- ・災害時には、最低限の機能を維持できるように、構造計画、設備計画に配慮し、住民の避難場所としての役割を担う場所
- ・環境への負荷を抑え、維持管理にお金のかからない、地球環境に優しい建築

配置計画の基本的な考え方

1. 新総合支所は、秋芳体育館を解体後その跡地に建設する。
2. 既存公民館は、新施設の完成後に解体し駐車場とする。
3. 既存の図書館は、地域資料や行政文書の保管庫として活用する。
4. テニスコート、秋芳中学校プールは、機能を維持し、プール更衣室棟は、新しく建て替える。
5. 県道31号に面して施設への主要な出入口を設ける。「あんもないと号」の延伸が予定されており、敷地内にバス停を確保する。
6. 施設管理や災害時のため、建物の周囲に管理道路を設ける。



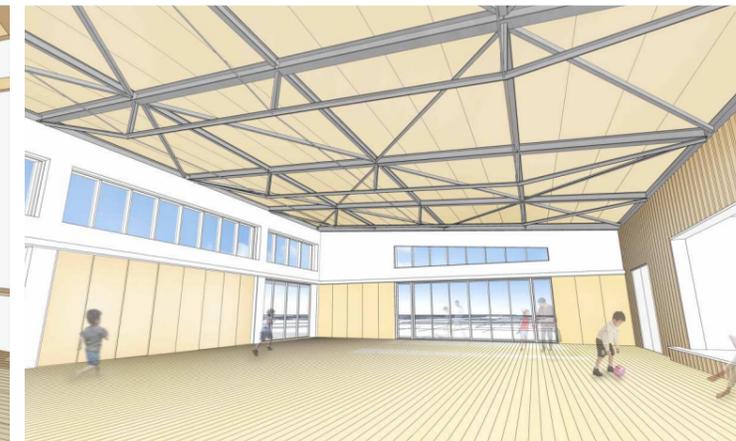
俯瞰による外観イメージ：左手の高い屋根が多目的ホール、右手の高い屋根が総合支所執務スペース、市民ロビー。中央のくびれ部分が中庭。



市民ロビー、執務スペース：木造のやわらかい空間。中庭に面した窓や北側の高窓から明るい光が入り、風が抜ける。



ふれあいロビー、図書館：市民や観光客が気軽に過ごすことができる、図書館とつながったふれあいロビー。



多目的ホール：一般的な鋼材を組み合わせた架構による軽快な空間。